

江東未来会議

第3分科会（健康・福祉分野）

第5回 議事概要

日時：平成19年12月18日（火）19:00～21:00

場所：江東区文化センター 6階 第1会議室

参加人数：16人

1. 開会

2. 配付資料の概要について

【事務局より資料説明】

3. 本日のワークショップの進め方について

【事務局より資料説明】

4. 幹事会からの報告

前回の各グループの意見を12月10日の幹事会で整理し、まとめたたたき台（第5回検討資料）について幹事会より説明。

5. ワークショップ

（1）全体討議1

①作業

幹事会の討議結果について各自質問・意見などを付箋紙に記入。

②発表

①で記入した付箋紙をもとに、各自発表。

○参加者

- ・過去に介護についての講演会があったが、専門用語が多く内容が理解出来なかった。
- ・コミュニケーション方法については、聞こえない人にとっては、どこの窓口に行けばよいかかわらず、手話通訳者がいる窓口についてから、該当する窓口へ一緒に移動することになる。それであれば、各窓口で手話通訳などのコミュニケーション方法が用意されていると良いと思う。
- ・情報弱者は、高齢者だけではなく、それ以外の障害者や外国人なども取り上げた方がよい。

- ・以前テレビで放送されていた取り組みであるが、地域内に立地している企業で働いている人たちに、近所に住んでいる人たちの体調確認をしてもらう方法がある。自分が介護が必要になったときに、すぐにヘルパーが来てもらえる制度が充実していない。企業が地域につながることを大事だと思う。

○参加者

- ・病院の中などで、そこにいることを知られたくないこともあり、名前がすぐに呼ばれることにも抵抗があるひともあるだろう。また、聴覚障害だと名前を呼ばれてもわからないこともある。
- ・待合室などでは、手元にあるブザーが鳴ったりするシステムであれば、自分が呼ばれていることがすぐにわかる。将来的なことだと思うが、何らかの方法でプライバシーを守りながら本人確認ができるようになるとよい。

○参加者

- ・企業でも障害を持たれている方を採用して働いて頂いている。企業の高齢者も含めて、地域との情報交換が出来れば、企業の地域社会への参画も進めやすいだろう。
- ・企業は社会貢献をうたって、様々な取り組みをおこなっている。しかし、高齢者の方や障害を持たれている方に対しては何も行っていない。企業と一緒にあって少しでも実施していくことができると良いと思っている。
- ・生きがいがあれば、何かをやろうという気持ちになるので、生きがいにつながるような事業を企業と一緒に実施するのはどうかと考えている。例えば、企業がパソコン教室を地域向けに開くなど、地域と一緒にあって取り組めば、生きがいづくりにつながるのではないか。

○参加者

- ・地域での社会参加であるが、高齢者だけが集まるのではなく、それ以外の方との接点もあった方がよいのではないか。
- ・北部地域では、子どもの数が減少しており学校の統廃合が進んでいる。こうした学校施設を有効活用して、デイサービスのような施設として活用してはどうかと思う。
- ・亀戸にある日立の研修所では、ボランティア活動を実施していると聞いている。先ほどの意見は非常によいと思う。

○参加者

- ・老人や高齢者、障害者に関しては今まで出ている内容をまとめると良いものができるだろう。
- ・それ以外に、青年や青少年の職場の開拓により、フリーターなどの減少につながる取り組みがひつようである。また年少者の健康増進策として、スポーツサークルの育成や指導者の育成が必要だろう。
- ・学校などで、リタイアした人が自分の経験談を後輩に話すといった取り組みが、全国でも見られる。江東区では、最近学校でボランティア関係の学科を取り上げて実施するよ

うになっているが、今後とも、こうした談話をする場を設けて頂きたい。

○参加者

- ・江東区は介護包括センターが数ヶ所しかない。また、江東区は情報が出てこなくて仕事
がしにくいという話を聞いているので、介護包括センターの増設と情報ネットワークが
構築出来る仕組みづくりが必要である。
- ・医療制度は、高齢者に対して厳しくなっている。収入が低い人に対する医療費の補助は
必要ではないか。
- ・公団に住んでいる人がいるが、年金で公団の家賃を払えるか心配している人も多い。こ
うした人のための低家賃の住宅の充実が必要ではないか。

○参加者

- ・高齢者や認知症の方を地域で支えるネットワークを積極的につくる取り組みを展開して
はどうか。
- ・オンブズマンは「組織体制」として整理しているが、組織の一部としてではなく行政か
ら独立した第三者としての整理が必要ではないか。

○参加者

- ・新しい意見ではなく、「高齢者の生きがい」について、幾つかの新しい言葉の提案であ
る。
- ・学習機会の提供については、高齢者だけではなく、いろんな人が入ることができる学習
機会の提供としてはどうか。
- ・また、住宅については、「住みやすい・使いやすい住宅が増えている」ということを提
示し、具体的な取り組みとして、「バリアフリー、高気密、などの住宅の促進策の推進
など」を追加することで全体がわかりやすくなるのではないか。

○参加者

- ・松本の浅間温泉で、廃業寸前であった旅館が、デイサービスを行うことで立ち直ること
ができた例があると聞いている。
- ・林間学校は子どもだけではなく、仲間づくりの場として、高齢者や障害者などをまじえ
たイベントとして実施してはどうか。
- ・高齢者の場合は、なかなか耐震補強することができない。とはいえ、災害が起きると大
きな被害につながる。何らかの対応が必要である。

○参加者

- ・悪徳医療機関ということが出ていたが、医療器具が川を流れてくることがあったそう
である。
- ・医師法で、病院は診察者を断ることが出来ないと定められているそうである。それにつ
けこんで、診療費用の不払いをする人が非常に多いようである。良い病院を増やすため

には、こうした問題も解決しないといけない。

- ・高齢者も自己管理が重要である。生活保護をうけながら、パチンコをしているような人もいる。

○参加者

- ・ブルーシート生活者が多くいる。こういう人を放置して良いのか。
- ・中にはサービスのひどい保育園もあるようであるが、行政からは口は出せないということを知ったことがある。こうした保育園の状況についてのチェックも必要である。
- ・若い人でも癌になるような人もいる。こうした人へのケアも必要ではないかと思う。
- ・すでに江戸川区では実施しているが、70歳以上の高齢者の方に、ブザーを配布しており、このブザーを押すことで近隣住民や消防署に連絡が届くしくみがあるようである。こうしたしくみの検討をしてはどうか。
- ・区民のための保養所を他の県につくって欲しい。災害時にも避難場所として非常に役立つそうである。

○参加者

- ・10年後、江東区でも高齢者が増加する。高齢者が江東区で孤独死するようなことなく、安心して住めるために、一人でも安心して暮らせる共同住宅の充実が必要である。
- ・悪徳医療機関が多いという表現があったが、そういう機関があるという程度の方がよいのではないか。

○参加者

- ・表現が攻撃的なので、その意見には賛成である。

○参加者

- ・表現に関して、「江東区に介護用入院施設が多い」は「充実している」にしてはどうか。また、「老人らしからぬ生き方をする」は、ありがたい姿として、否定的表現が入っており、変えてはどうか。事務局で検討していただきたい。

○参加者

- ・かつて、救急車で妻が江東病院に搬送されようとした。江東病院では個室しか空いていないという返事だったので、お願いしたら、病院までいったら担当医がいないということでたらい回しにされて妻が亡くなった。悪徳医療機関についての表現の意見が出たが、このままでよいと思う。
- ・ヘルパーの30%がたばこを吸っているような状態であるように、ヘルパーの質が低下している。原因は労働条件だけではなく、いやいや働くような資質のない人が多いことにもある。そういう人を雇って利潤を上げているヘルパー会社がいることである。
- ・もともと福祉事業とは何の関係もない事業者が、利潤追求の目的でヘルパー派遣会社を始めているような例もある。
- ・渡り鳥ヘルパーとあって、適当な介護を行い苦情を受けると次々と勤務地を変えていく

ような人もいるそうである。

- ・介護における家族の孤独感を解消するために、ネットワーク形成が必要であるということ5年前に区に提案したが動いていただけなかった。こうしたことも改めて取り組む必要がある。
- ・また、在宅医療という観点では、往診時の交通費という問題がある。これは、マンションにまとめてくる場合でも一軒一軒請求されるような状況である。

(2) 全体討議2

- 出された質問、意見などについて全体で議論し、前書き、テーマ、現状と課題、将来像
- ・ありたい姿、実現のための取り組みについてまとめを行った。

(討議)

○辻ファシリテーター

- ・どういう理由でこういうテーマになったかという前書きの部分をまずご議論頂きたい。
- ・その上で、追加の意見があればご発言頂きたい。

○参加者

- ・現状と課題からみると、このテーマにつながるということではないか。
- ・現状と課題の大きなテーマで整理して頂いていることから、前書きの部分、テーマは導かれるのではないか。

○参加者

- ・それと同時に、「数字で見る江東区」を確認すると、人口が増加しており、当然高齢化が進み子どもも増加している、という前提がある。この上で、現状と課題につながるのではないか。

○参加者

- ・家庭を維持するうえで、高齢者の面倒までみれなくなっているのではないか。子育てを始めるとそちらにお金もかかるだろう。
- ・本日は江東区で自殺があったが、自殺の問題はどうなのだろうか。

○参加者

- ・今まで経験したことのないような江東区の特性と問題として、急激な人口増加などがある。そうしたことを踏まえたうえで、これらの特性と問題を解決する視点として、こうした論点があがってきたのではないか。

○参加者

- ・最初のスタートで、10年後を念頭においた検討をおこなったので、10年後のありたい姿を考えたということを入れておきたいと思う。
- ・10年後の江東区のありたい姿を念頭においたうえで、いま整理されている「現状と課題」

からいくつか例を出しながら、3つのテーマに落としていけば、問題がないのではないか。

○参加者

- ・子どもが親の介護をできなくなっているというのも事実だが、その前に、なぜ子どもに親の面倒を見るべきだという教育ができないのだろうか。
- ・林家三平が、面白いことをいっていた。それは、親が子どもたちを育てるのは恩を貸している状態であり、老後はそれを返してもらえるので安心だ、といった内容だったと記憶している。これと同じ考え方が広まればよいのではないか。

○参加者

- ・今のご意見に対して、今の高齢者は自分の面倒を子どもに見て欲しくない、という人も多いというふうにアンケート結果で見たことがある。価値観が多様化しているのではないか。

○参加者

- ・みな、病院ではなく自宅で死にたいとおもっているだろう。それは、家族がいるから実現できることだと思う。
- ・妻が墨東病院に2年間入院した後、転院しなければならなくなった。他の病院を見て回ったら、サービスがひどいと感じて、在宅介護に切り替えた。その時に、墨東病院の看護婦が、自分なら在宅介護にすると発言した。

○参加者

- ・「医療・介護の充実」という点は、これから高齢化に向かう中で一番心配であることが医療・介護であったということだと思う。
- ・「老若参加」については、これからの社会では、年代間でネットワークが切れがちになるが、それをつないでいかないと、高齢化社会に対応出来ない、孤独になってしまうのではないかということだと思う。
- ・「自立支援」については、自分たち自身が高齢者・障害者になったときに、ここに取り上げたようなことが必要となる内容ではないかと思う。

○参加者

- ・子どもに面倒をかけたくないと思って、献体の申し込みを行ったが断られた。しかし、今申し込みが続出しているそうである。

○参加者

- ・核家族の増加ということが大きな背景ではないかと思う。

○参加者

- ・江東区の場合は少子高齢化ではない。昔ながらの所は高齢化が進んでいるが、一方で南側は住宅が増加している。
- ・企業跡地などは、新しいマンションが建っている反面で、亀戸や砂町などの旧来からの地域では、高齢者問題が発生している。

○参加者

- ・新旧の団地での世帯間格差があるということか。
- ・団地では平均年齢がそのままあがっていくという問題もあるだろう。

○参加者

- ・その中で、核家族化は進んでいる。
- ・江東区では人口が増加しているから高齢者問題の始まりが遅くなるということではなく、日本全国と同様の問題が江東区でも起きているという認識が必要である。
- ・行政だけに頼らないで、高齢者対策を進めていかないといけない。

○参加者

- ・参加者から指摘があった、若い世代などの福祉・健康といった内容と、今の指摘をふまえながら、世代間交流といった内容をあらたに「老若共同参画社会の推進」の下に入れてはどうか。

○辻ファシリテーター

- ・今のご意見に異論がないようなので、新しく項目を追加する。

5. その他

【事務局より江東未来会議提言書に作成に関する資料説明】

以上

テーマ:医療・介護の充実

現状・課題

医療機関不足等

総合医療機関が区内に極めて少ない

個人医療機関の医者が高齢化しつつある

病院が縮小されたり廃院になる傾向にあるように思う。公共的なものを入れてほしい

ぜひ公立の病院を建設してほしい

医療機関についての要望が多く出されているが江東区に限られた事ではないが現実には医療機関に診察を受けても支払をしない事案が続出していると言われていて、このような事が続くとい病院は進出しなくなるだろうと思います。

悪徳医療機関の表現を柔らかいものに変える
ex.良心的医療機関など

悪徳医療機関が多いとありますが、私の知る限りそういった話はあまりききませんあるという表現の方が適切では？

医療従事者の不足

江東区は23区の中で医師の数が少ないようですが、人口急増地域なので、心配です。

医療機関の質の確保

悪徳医療機関が多い

悪徳医療機関が多いと言う問題ですが私がかつて働いていた公園管理で横十間川へ一年に一回位、おおきなビニール袋に入れて、使用済み医療器具が捨てられていた

将来像・あいたい姿

医療施設等充実

医療力の向上

医療従事者・ヘルパーの数、質の充実

医療機関のたらいまわしがなくなっている

適正な価格で医療サービスが受けられる公立病院の拡充

安心して受診できる質の確保

技術面だけではなく多様なコミュニケーションの向上
安心して受診・治療できる事(音声によるコミュニケーションだけに限らず)

総合病院の中でのコミュニティの充実(患者という立場だけでなく、ボランティア活動、情報交換などできる)

悪徳医療機関がなくなる

今後の取り組み

医療従事者の育成

奨学金制度など設けて江東区在住の人材を育成する

受けやすい医療の質の向上

総合病院内に医療相談以外の窓口を設置

悪徳医療機関の公表

多様なコミュニケーション・精神面の福祉

相談窓口を広げる
→誰でもわかりやすい言葉
多様なコミュニケーションの充実

災害時・緊急時の体制確保

70才以上の1人暮らしの安全の為に、プザー等の配布を。
江戸川区は配布されている

高度医療機関誘致

医科系大学付属病院の誘致(入院できるもの)

江東区による医療施設の充実と医療従事者の育成制度を作る

介護保険が、より有意義な生活を営む為に、より使いやすく、拡まっている。

安心して住めるまちづくり

介護施設・従事者の不足等

特養ホームなど介護施設入居待機者が多い。1年以上待たないと入れない

区内に介護用入院施設が少ない

二年待ちの特養ホームも面接で落とされる現状はなんとかならないのか

施設及び介護従事者の不足

介護保険制度のあり方

介護保険の切り捨てが始まっているように感じる

現在の制度では事業所も悪いことをしなければ赤字となってしまふ。制度事態の改善が必要

区内ヘルパーの質の低下

ヘルパーの給与水準が低下している

ヘルパーの質が低下している原因は労働条件だけではなく安易にヘルパーを志した資質のない当人と経営者の問題だ尚30%は喫煙者の由

ヘルパーさんの収入待遇が悪い

介護サービスの充実

介護者に対する住診医師の交通費負担は不公平あり

介護家族の横のつながりが必要

1人暮らし高齢者のサポート

介護ニーズに基づいたサービスを受けられるようにする

介護施設

江東区に介護用入院施設が充実している

特養ホームへの入所が容易となる

介護保険制度

在宅介護支援がさらに充実する

ヘルパーの労働条件が改善され、ヘルパーが増えている

老後も安心できる環境

ゆりかごから墓場までの実現

高齢者のニーズに対応したシニア予算措置がある

福祉関係施設充実

高齢者施設が充実し増加している

現在、縦割りの保険・医療・福祉等の行政の仕組みが、統合され横の連絡が良くなっている。

高齢になっても衣・食・住に支障がない

成年後見制度

成年後見制度の理解者が多くなっている

利用しやすい介護保険制度の構築

利用できる制度を個人個人に知らせること

介護保険制度の高度化

在宅介護の充実

介護の支援体制の構築

・介護包括センターの増設
・介護のネットワークが出来る部署を設ける(介護する方、利用する人も)
→介護に予算を増やす

人材育成

介護福祉士の養成
区立特養ホームの建設
区内に養成校を誘致

社協の実施しているホームヘルパー養成講座を拡大する

義務教育の時から体験を義務化(手当から介護ボランティア)

適切な施策を実施し管理する体制づくり

縦割りから「統合」への検討

オンブズマンの導入(行政から独立した第三機関として)

高令者委員会の設置。区の政策に意見を上げる

相談体制

相談窓口を広くする

後見人制度普及

「後見人」養成講座が常に開催されている

老後の安心確保

江東区は高齢者の比率が高くなる割にそれに対する施策がない

高齢者の不安を解決する仕組みが整っていない

自宅で亡くなりたくない

子どもが親を介護する教育を

福祉関係施設の充実

高齢者施設が不足している

火葬場を区内に。他区にたらい回されて、火葬するまで費用がかかる。安心できない。

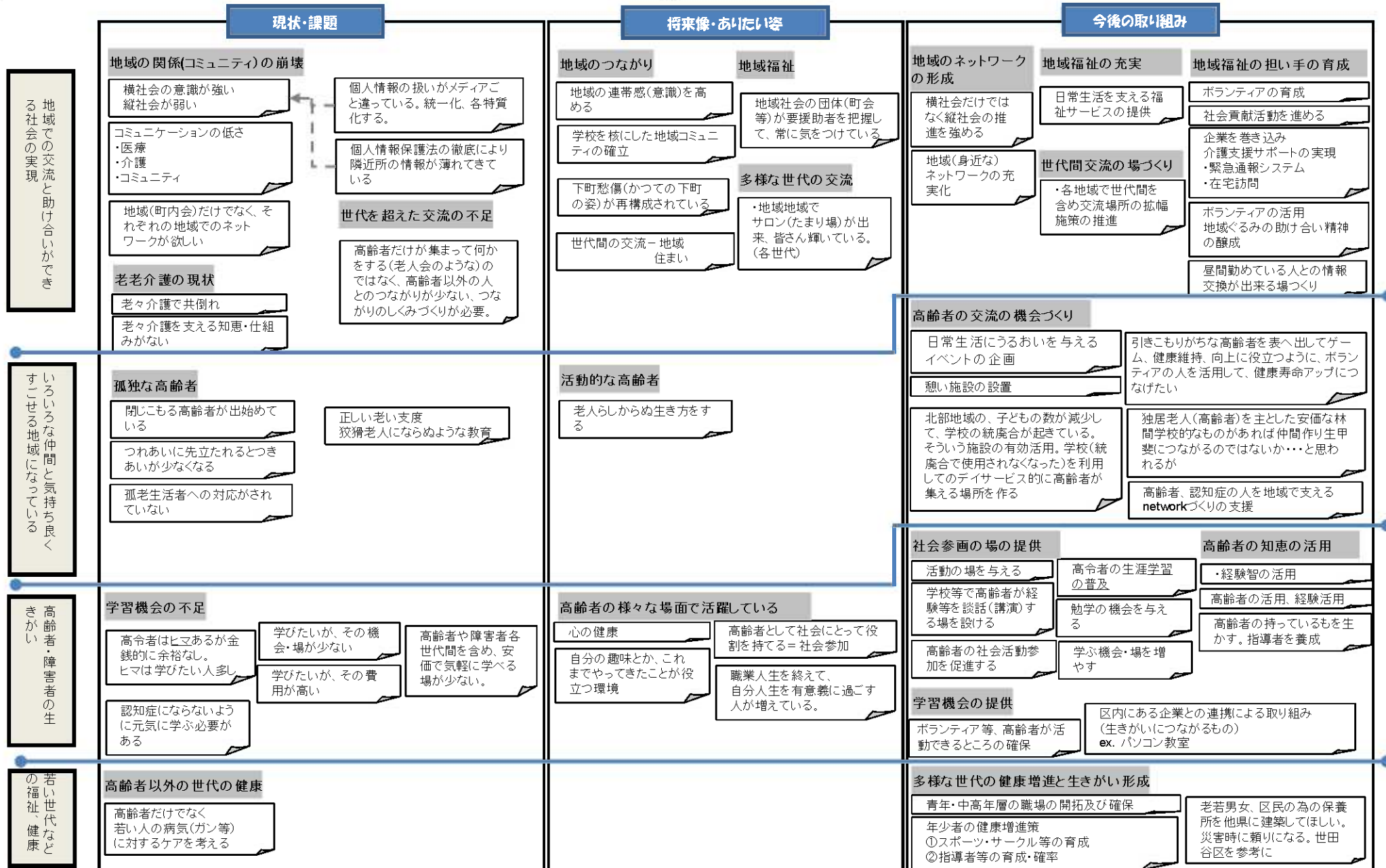
成年後見制度

成年後見制度のPR不足

成年後見制度の理解者が少ない

近頃家族だけで火葬場だけですますることが多いということで理由はいろいろあると思いますが、10年後は確実に増えると思うので、ぜひ実現を

テーマ:老若共同参画社会の推進



テーマ:高齢者・障害者の自立支援(バリアフリー、健康、生活基盤等)

現状・課題

情報のバリアフリーが必要

情報のバリアがある
・視覚障がい
・聴覚障がい
・外国人 etc

緊急時は情報が掴みにくい

情報弱者(=高齢者)が多い

情報弱者(=高齢者・障害者・海外人等)

将来像・あいたい姿

情報

障害の特性に応じた情報提供のあり方の充実

正しいコミュニケーションの取り方、伝え方を教育化

音声のみではなく色々なコミュニケーション方法が取れる環境

情報弱者を対象にした情報伝達が良好となっている(年金、医療費、etc)

バリアフリー

江東区内のバリアフリー化が進んでいる

障害当事者の参加の上で進められたバリアフリー具現化

今後の取り組み

情報のバリアフリー

情報弱者も対象とした情報伝達システムの確立

個人情報の保護として、病院、調剤薬局、金融機関で個人の名前を直接呼ぶ将来なんらかの方法番号カードなどデジタル・バイブレーター研究されないか?

アクセスバリアフリー

近隣へのアクセス・利用の幅を広げる

交通バリアフリーバス

道路、公共施設の早急なバリアフリー化

区の高齢者・障害者の活動を促進する環境づくり及びバリアフリー化を実現する

安定・安心した生活ができる

居住環境

高齢者の居住

ますます1人暮らしが増加する。

老朽化した住宅に住む高齢者耐震補助制度があるが...50% ¥1,000,000まで借金して改築しても返済不可能地震の場合倒壊家屋による犠牲者、避難者多い

高齢者雇用

自立を支えるための収入が必要=働く機会

年金制度への不安

年金の手取り額が目減りしている

年金生活のため、未払いが発生する。

負担の軽減

医療費が高くなっている

医療保険制度が高齢者に厳しくなっている(後期高齢者医療制度、自己負担金の割合が増える高齢者に健診はあまり必要ない...) →高齢者で低収入の人に配慮を

路上生活者

家のない人、ブルーシート生活者に仕事(公園の清掃等)を!!

住宅

住宅不安のないこと

1人暮らしでも安心な共同住宅が充実。

住み易い、使いやすい住宅が増えている。

経済的な安定

交通機関や施設を気軽に利用できる

介護保険負担の低減

高齢者に対する医療費支援がなされている

高齢、特に一人暮らしになると食事のバランスがとりにくい、食事のサービスもできている。

負担の軽減

後期高齢者医療制度(H20.4月)負担見直し。国保との関連性を。

高齢者の医療費負担額の低減

最低生活水準の保証

交通機関が安く使いやすい(区内循環型)

資産、収入に応じた負担をする

雇用確保 高齢者の雇用場所の確保

高齢者むけの住宅整備

高齢者の共同住宅

1人暮らしの人、グループで生活する

公団等の住居では年金生活となると家賃が払えなくなるおそれがある。

都(区)営住宅の増設

高齢者のグループホームの建設 ひとり暮らしや認知症もふえているのでグループの助け合いで

バリアフリー化 省エネルギー化 などの住宅促進策の推進。 Ex. 200年住宅

公共住宅の増設

高齢者が自立した生活を送る

健康づくり

介護予防が進んでいない

介護知識の普及

認知症が増えていく。不安である。1人暮らしの場合は特に。

自立の意識

高齢者の自立を助ける施策が大切に初めに福祉ありきではなく自己管理の指導が大切である。例えば、生活扶助を受けていながらパチンコに入り浸っているような人も見受けられる

健康づくり

特養ホームへの入居者が少なくなる(健康なお年寄りの増加)

身体の健康

介護予防・健康づくり

介護予防事業のPR普及

・要介護予防や老年症候群(転倒・低栄養症・口腔ケア・失禁etc.)の予防

高齢者の健康や痴呆症防止の対策の充実

健康イベントの開催

老人の医療機関検診を集団検診化

スポーツセンター等区の施設に対する高齢者入場無料化により健康に役立つ。(外出しやすくなる)

高齢になるとリハビリをすることによって機能が向上するケースが多いと思う。リハビリ施設の充実を!

自立の意識づくり

与えるというのではなく(主体者に)自立・自助の障害を取り除く社会参加の保証

テーマ:その他としてとりまとめられたもの

バリアフリー(※)

コミュニケーションが基
となっている

コミュニティー

犯罪の増加
ニート、フリーターの増加
少子化の加速の現状

ネットカフェ難民・
ホームレスが増えている

発災後外人や意思を通え
る不能な人への対策

<人にやさしい街づくり>
犯罪を少なくすることが最も
必要だと思う

<災害時・その他>
大地震が起きた時は、寿命
が尽きたとあきらめる

現在都議の柿沢未途氏が江
東区・墨田区・江戸川区の合
併構想を出しているが江東
区はどう対応するつもりなの
か

保育園のチェックを強化
区は、お金を出すだけ
ではいじめはなくなるな
い。